

県立施設袖ヶ浦福祉センター（指定管理者：社会福祉事業団） における虐待事件への対応経過について

【事案・立入検査の概要】

- 昨年 11 月 26 日に、養育園の利用者が、職員の暴行を受けた後、病院に救急搬送され死亡（3 月 11 日傷害致死容疑で逮捕・31 日起訴）
- これを受け、昨年 12 月から本年 2 月にかけて、計 28 日間、養育園（児童）及び更生園（成人）等に対する立入検査を実施（職員延べ約 350 人を対象）

※ 確認された状況（平成 16 年度から平成 25 年度まで 10 年間）

身体的虐待（暴行）を行った職員	11 人	（被虐待者 17 人）
性的虐待	//	2 人（被虐待者 2 人）
心理的虐待	//	3 人（被虐待者 4 人）
合計（実人数）	虐待者 15 人	被虐待者 23 人

* 虐待者は延べ 16 人（この他に虐待を行った疑義のある者 3 人）

【県から事業団に対する改善勧告の状況】

- 昨年 12 月から本年 2 月まで計 4 回勧告を実施（養育園については、当分の間、新規利用者の受入停止の行政処分も実施）
- 主な勧告の内容は、次のとおり。
 - ・虐待防止のための体制の整備
 - ・職員の人材育成、教育及び意識改革、支援現場の処遇改善
 - ・事故発生時の県への迅速な報告、保護者への説明、情報提供の充実
 - ・幹部の刷新、処分（→事業団において 3 月 25 日に実施）

【第三者検証委員会の中間報告（3 月 25 日）概要】

- 1 月 17 日に設置し、3 月にかけて全 6 回開催
- 主な虐待の原因等とそれに関する提言は、次のとおり。
 - 【人材育成、人事配置、研修の不備】
 - ・支援に必要な理念を共有し部下を指導するリーダーの育成、支援の困難性に見合った人員配置、全職員に対する外部研修の実施
 - 【事業団内虐待防止体制の機能不全】
 - ・幹部刷新、虐待防止委員会の機能強化
 - 【外部チェック体制や県のチェック体制の問題】
 - ・外部の相談支援に長けた専門職（パーソナルサポーター）の派遣
 - ・県の監査・モニタリングの強化
 - 【医療支援体制の未整備】
 - ・施設内の医療職（看護師等）と支援員とのコミュニケーション・連携促進
- センターの運営形態である「指定管理者制度」の運用について、可能な限り、第 2 期指定管理期間が満了する平成 27 年度末よりも前に、次期へ切り替えるべき